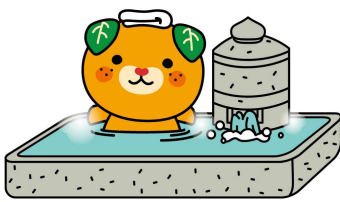
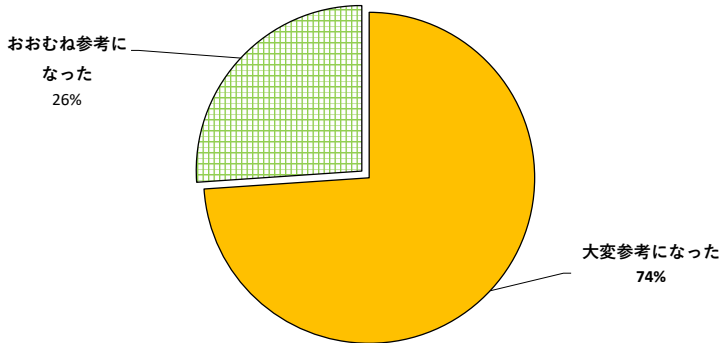


令和7年度市町教育委員会生涯学習・社会教育関係職員等研修会 アンケート結果

[アンケート回答者23名]

Q1 講義について



◆研修テーマ
生涯学習振興・社会教育関係職員に求められる役割

令和7年
7/2(水)
10:00~16:00
県生涯学習センター
(飯山市上野町)

◆PROGRAM
開会行事 10:00~10:05
登録受付 10:05~11:00
開会式 11:00~12:00
昼食 13:00~15:50
閉会行事 15:50~16:00

①情報交換(先輩を囲んで)
各地域の課題解決のために、日々奮闘している経験豊富な先輩職員を囲んで、参加者が抱えている悩みや疑問について学びたいところがあります。(令和6年度研修会の様子)

②③【演習+演習】講義

 国立社会教育研究所
社会教育実践研究センター
専門講師 大下 真史 氏

◆講師プロフィール
平成18年度から東京都豊島区の小・中学校教員として15年間、教育委員会事務所で社会教育主事として10年間勤務後、令和6年度から現職。社会教育主事と社会教育士としての責任、役割に関する実践研究を兼ね、調査研究員として、郡連携員・市町村における社会教育の活性化に向け活躍中。

講義題目 「社会教育人材への期待と事業計画のポイント」
演習題目 「対話から始める、事業・講座づくり」

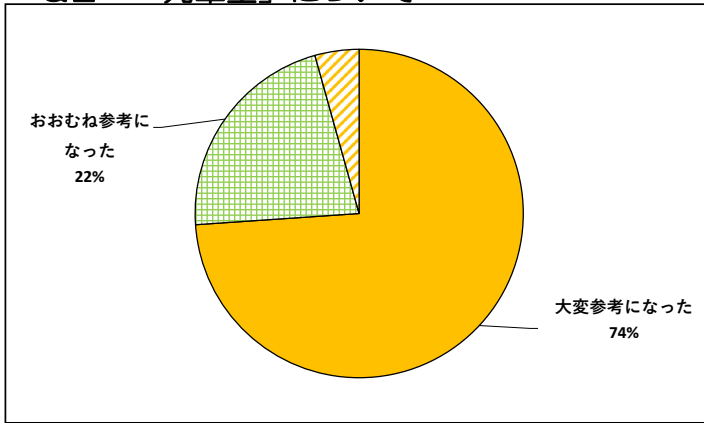
◆申込期間・申込み先 定額了有月23日(月)締切
下記URL又は右の二次元コードから申し込みください
URL: <https://cecf.orion.jp/cecf/0606>

【問合せ先】定額了教育委員会事務局社会教育課社会教育グループ(豊島)
TEL: 03-5481-2338 FAX: kyokashin@shufu.fahime.lg.jp
WebP URL: <https://www.cecf.orion.jp/page/1245.html>

【感想】

- 今年の4月から社会教育課に配属になり、社会教育についてよく理解できていなかったが、今日の講義を通して基礎的な内容に触れていただき、理解することができた。
- 普段は事業の目的や中身を考える余裕もなく、目の前のことをこなすことに切羽詰まった状態になっていたが、今回の演習を通して、そうではいけないと改めて感じ、改善していこうと思うきっかけになった。
- 普段の業務から離れて、いろいろな立場の人と交流することができた。また、社会教育の基礎を振り返る等、自己研鑽の素敵な機会となった。
- グループで考えることでいろいろな意見が出て、視野を広げることができた。また、他の意見を知ることができ、有意義な時間を過ごすことができた。そして、何よりも大下先生の講義を生で体験できたことが良かった。
- 演習を通して社会教育事業の立案・計画のプロセスを理解することができた。
- 様々な意見を聞くことができて参考になった。チームで話し合うことでアイデアがブラッシュアップされていた。「楽しく学び続ける」をキーワードにこれからの業務にあたっていきたい。
- 大下先生の話がとても楽しかった。社会教育・生涯学習について、漠然としか分かっていなかったが、より詳しく具体的なことを学ぶことができた。演習も皆さん楽しく話すことができた。
- 社会教育士や社会教育主事の説明がとても分かりやすかった。グループワークの方法もとても参考になったので、自分の地域でも活用したい。
- 研修会を通して、企画を立案したり実践したりすることの難しさを改めて感じる事ができた研修だった。そして、企画の立案等を通して、目標に立ち返る必要性を強く感じた。

Q2 「先輩塾」について



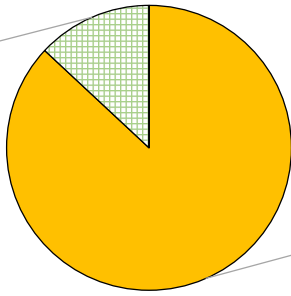
【感想】

- 先輩職員をはじめ、同じ業務に従事する方々と意見交換できて大変参考になった。
- 先輩はもちろんですが、他の市町の方も私と似たような悩み等を持たれていて、個人的に安心した。
- 大事なのは、コミュニケーションをとろうとする意識だと感じた。私は超人見知りだが、意識してコミュニケーションをとっていると新たな自分を再発見することができた。
- 普段関わりのない他市町の人との共通点や相違点を見つけられ、親近感が湧いた。
- サイコロトークでいろいろ話げできた。話すテーマが決まると話題が出やすいので、自分でもできそうだなと思ったので、実践してみたい。
- サイコロトークも話しやすいテーマで実施していただいたので、初めてお会いする人とも話が盛り上がり楽しかった。
- 先輩職員をはじめ、同じ業務に従事する方々と意見交換することができて大変参考になった。
- 先輩の体験を聞くことができ、参考になったとともに、他の市町の職員ともつながりをつくることができ良かった。



Q3 研修会を通して

おおむね参考になった
13%



大変参考になった
87%



【感想】

- 他班の発表及び自分の班の演習計画の具体的な改善点を大下先生に聞くことができ、どのように改善すればよいか理解することができた。
- 様々な地域から参加されている職員と話したり、演習をしたりすることで新たな学びがあり、今後の業務の参考となることが多かった。
- 聞くだけの研修会と違い、グループワークなど多くの動きがあり、時間の経過がとても早く感じるほど、充実した研修会だった。
- この研修で大下先生に教えていただいたフリップを使ってのコミュニケーションづくりやがラベルワーク等を町の事業でも取り入れていきたい。
- 普段の活動の際に、施設等を意識して物事をしっかりと整理してから事業に取り組む機会も少ないので、できるだけ基礎をしっかりと大切にしようと思った。
- 堅苦しくなく、楽しく話ができ良かった。他の業務では感じたことのない雰囲気での研修だったので、有意義な時間を送ることができた。
- フリップトークはTV等でよく見るが、実際初めて体験した。大下先生のおっしゃるとおり、一言書くと話せるものであることに気付いたので、これからの業務で実践したいと思った。また、みんなで1つの事業をリアルに考えることが楽しかった。
- 楽しかった！参加して本当に良かったと思った。

Q5 今後取り上げてほしい内容、テーマ

- スポーツ・文化・公民館など、それぞれのテーマを取り上げて欲しい。
- 地域づくりのファシリテーション方法
- 事業と参加募集のコツ、講師とのスムーズな連携について
- 社会教育法について、ひも解いてほしい。

Q6 御意見、御要望等

- 明日からの元気をもらった。ありがとうございました。
- いい学びになった。また、よい刺激になった。

